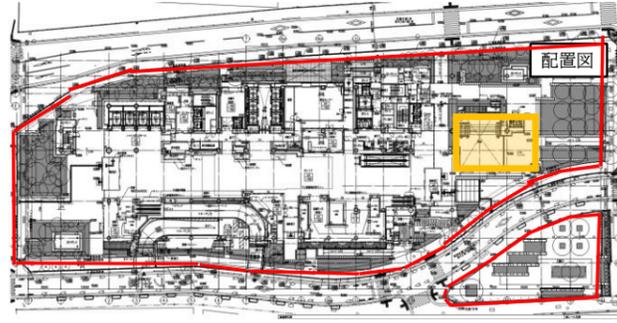


1. 活動名称 日比谷フォートタワーエリアマネジメント
2. 対象地域



【凡例】
 : 活動の拠点:日比谷フォートタワー
 : 認定対象の公開空地



【凡例】
 : 対象地域 日比谷フォートタワー
 : 新橋・虎ノ門地区まちづくりガイドライン対象区域

3. 地域の現状

- (1) サンクンガーデンなどの有効空地が活用されていない
 - ・内幸町駅と霞ヶ関駅に近接し、隣接する日比谷国際ビルを経由する地下アクセスからの地上への玄関口として形成されているサンクンガーデンですが、活用に向けた整理がされておらず、有効利用がされていない状況。
- (2) ワーカー中心のオフィス街
 - ・大規模ビルが集積し、多くのオフィスワーカーが行き交うことによる賑わいを強みとして発展してきたエリアだが、オフィスワーカーのいない夜間帯や休日などは賑わいに欠けている状況。
- (3) 地域コミュニティの衰退の懸念
 - ・町会活動等を通じて培われてきたコミュニティの衰退が懸念。学校や町会等の地域コミュニティによる文化活動や周辺の老舗店舗等による伝統商品や技術紹介の発信する場を提供する等、コミュニティ活性化のきっかけづくりが求められている。



日比谷フォートタワー周辺は事務用途が中心

『周辺の建物用途図』
 : 事務用途のビル
 : 日比谷フォートタワー

4. 当地区の将来像・目標

<将来像>
 ビジネス街としての魅力に加えて、エリアとして新たな付加価値をもたせることで地域の発展につなげます。オフィスワーカーと来街者との交流を生み出す拠点として、また、地域の魅力を発信できるスポットとして、エリアマネジメント活動の起点になるような場所をつくりたいという思いから将来像を以下の通りに設定しました。

多様な人々と協力して地域の魅力を創出、サンクンガーデンを交流の拠点に

<目標>

1. サンクンガーデンを人々が集い、憩う場所に
 - ・近隣のオフィスワーカーや地域住民等幅広い人々に対してスペースを提供、認知度を高め、人々が憩い集う場所にしていきます。
2. 多様な人々のコミュニティ形成・賑わい創出
 - ・オフィスワーカーに限らない、多様な人々が参加できるような参加型イベントの開催を通じて人々のコミュニティ形成の場を提供します。
3. 地域の魅力発信
 - ・町会活動や学生・地域住民の活動・交流場所として、賑わいを創出し魅力発信の拠点とします。



『憩いの場イメージ』

5. 組織体制

【活動主体・事務局】
 日比谷フォートタワー管理組合
 理事長 三井物産都市開発(株)

サポート： 三井物産フォーサイト(株)
 三菱地所プロパティマネジメント(株)

6. 取組内容

- (1) 【タイトル】健康月間
 - 【テーマ】
 - ・年齢問わず多くの方が関心があり、SDGsのテーマでもある健康を通して、参加者のコミュニケーション機会を提供。
 - 【開催内容】
 - ラジオ体操・ヨガ・ストレッチ
 - ・誰でも気軽に参加できる健康活動を定期開催し、様々な人たちが集うきっかけを作る。これまで活用できなかった公開空地において人々の交流機会を増やし、新たなコミュニティの創出・活性化を促す。



『健康月間イメージ』

- (2) 【タイトル】クリスマスイルミネーション&フォトスポット
 - 【テーマ】
 - ・多種多様な人々に季節を感じられる場所を提供し、憩いの場として開放
 - 【開催内容】
 - クリスマスイルミネーションの延伸及びフォトスポットの設置
 - ・毎年開催しているクリスマスイルミネーションエリアを延伸させ、フォトスポットの新設やホットワインなどのドリンク提供といったイベントとあわせて地域の賑わいづくりに貢献する。



『フォトスポットイメージ』

- (3) 【タイトル】アートカルチャーガーデン
 - 【テーマ】
 - ・地域住民・学生等による活動・文化発信
 - 【開催内容】
 - 地域住民の文化的活動（合唱・演奏・創作展示等）の発信の場として活用する
 - ・町会や学生、ワーカー等の地域住民の文化的活動の発信の場として空間を提供することで、日々の取り組みを後押しし、文化醸成に寄与します。



『アートカルチャーガーデンイメージ』

- (4) 【タイトル】憩いの場としての開放
 - 【テーマ】
 - ・周辺地域の憩いの場としての空間を整備
 - 【開催内容】
 - 可動式テーブル・ベンチ等を設置し利用者の憩いの場として環境を整備する
 - ・スペースがあるだけで環境が整備されていなかったことから、テーブルやベンチ等のスペースを設けることで、憩いの場としての環境を整備し、空間として有効利用します。



『憩いの場としての開放イメージ』

7. 活動効果

- (1) 【タイトル】健康月間
 - ①サンクンガーデンの認知度向上
 - 健康をテーマにすることで年齢・性別問わず多くの方が参加しやすいイベントとなり、サンクンガーデンの認知向上が期待できる。
 - ②コミュニケーション機会の多様化
 - 地域社会とオフィスワーカーの交流の場として、普段のコミュニティや勤務しているビルとの垣根を超えたコミュニケーションの機会を創出する。
- (2) 【タイトル】クリスマスイルミネーション&フォトスポット
 - ①人々が集う場所を演出する
 - 既存イベントであるクリスマスイルミネーションを延伸させ、空間を有効活用することで、イベントとしての規模拡大により人々が集う場所としての演出効果を高める。
 - ②集客力の向上
 - オフィスワーカーや地域住民のみならず、多くの来街者を呼び込む仕掛けとし、地域全体の活性化に寄与する。
- (3) 【タイトル】アートカルチャーガーデン
 - ・地域の文化活動発信に寄与する
 - 周辺学校や地域住民の活動の場として提供し、就業者にも地域活動を知ってもらう。
- (4) 【タイトル】憩いの場としての開放
 - ・地域交流の活性化
 - 周辺就業者・来街者・周辺住民など多様な人に利用いただき、活気ある交流の場とする。